

# 合宿教習受講 中国語でOK

## 伊勢・南部自動車学校

日本で暮らす中国人が増える中、三重県伊勢市の南部自動車学校が五月から、中国語で受けられる合宿教習を始めた。同校によると、東海三県で初の取り組み。日本人の教習生は少子化で減っており、閑散期に中国人の生徒を受け入れて経営を安定させる狙いだ。



中国語で学科教習を受ける中国人女性を三重県伊勢市の南部自動車学校で

県内在住の中国人女性(20)が二十日に入校し、仮免許を目指して学科や技能の教習を受けている。入校から卒業まで十六、三十日程度で、日本人教習生が減る五月と九月、十一月に限定し、それぞれ十人ほどを受け付ける。宿泊代や一日三回の食費を含めた費用は、日本人と同じ二十五万円。

運転免許に関して加盟する国際条約が中国と日本で違うため、中国で運転免許を取った人も日本では試験や教習を受けなければ運転できない。日本で暮らす中国人は六十五万人いるとされ、南部自動車学校は需要は大きいとみる。昨春、中国語が話せる日本人女性と中国人男性を採用し、指導員として育ててきた。同校によると、少子化で

経営が厳しい自動車教習所の打開策として、外国人を受け入れる動きが出てきている。中国語での教習は静岡県や島根県など数校で先例がある。ブラジル人などのためポルトガル語に対応するケースもあるという。上地行嗣常務は「口コミの評判が大事なので、徐々に浸透させたい」と話す。現在、三重県の運転免許センターでは中国語の試験が受けられないため、改善も働き掛けるという。

(伊勢支局・大島康介)

# 愛知企業6割弱 設備投資を予定

17年度 合理化対策目立つ

民間調査会社の帝国データバンク名古屋支店は二十日、愛知県に本社を置く

# 腰の負担 30キロ↓20キロ

ジェイテクトが  
スーツ開発着手

自動車部品大手のジェイテクト(名古屋)は二十日、製造現場の作業者の腰の負担を軽くする「パワーアシストスーツ」の開発に着手したと発表した。強みを持つ電動パワーステアリングやロボット工学などの技術を応用し、二〇一八年度の販売開始を目指す。



名古屋市内で開いた説明会で明らかにした。同社は昨年、新規事業企画室(現・新規事業推進部)を発

足。少子化の増加とに対応すにいた。パワー開発は、その製品は他

企業のうち、二〇一七年度に設備投資を実施する予定があると答えた企業が六割弱を占めたとする調査結果を発表した。投資内容では、人手不足対策として省力化・合理化やIT化などを挙げる企業が目立った。

「予定」「実施を検討中」と答えた割合が57・6%を占めた。投資の内容を複数回答で尋ねると「設備の代替」が四割強と最多だったが、四社に一社が省力化・合理化、五社に一社がIT化への投資を挙げた。

い企業に理ろ、約四割通せない」。設備投資を答えた企業は、4%で、岐阜(63・59・8%)の東海1%の東海れも全国平均名古屋支店も景況感が自を中心に設備が高い」とみ

調査は四月、千四百七十二社を対象に、初めて質問を設備投資に絞って実施し、40・2%に当たる五百九十二社が回答。一七年度の設備投資を「実施済み」

業界別では、運送車両の買い替え需要がみられる運輸・倉庫が八割を超えたほか、製造と小売りがそれぞれ約七割と高かった。

設備投資を予定してい

が得意。GPUの分野ですと話し、対抗心をみせている。は高X(2)